

信愛クリニックの新型コロナ対策

目的：職員のこころとからだの健康を守りながら、信愛医療をできる限り多くの人に届け続ける

方針：①具合が悪い時には気兼ねなく休むことができるシステムを作る

②規模を段階的に縮小するプランを立てて、それを職員に周知しておく

③院内感染を防ぐために食堂の配置換え・時間差エッセン・手指消毒の徹底・院内消毒の徹底・マスク必ず着用・ミーティングは距離を保つもしくはオンラインで・エアゾル発生の恐れがある検査は院内で絶対に行わない（INF検査・溶連菌検査・吸痰・PCR）

④がんばる職員にボーナス肉を配り、オンライン肉祭り開催

⑤現場の声をしっかり拾うため、普段から意見を言いやすい環境を作り、リーダーは最終決定と責任を負う（時にトップ→ダウンも必要）

新型コロナウイルス感染者は無症状～感冒症状～重症肺炎まで幅広いが80%は軽症。

死亡者の多くは高齢、心疾患、糖尿病、COPDなどのriskをもつ

米国での高齢者施設での死亡率34%。ヨーロッパでの死亡者の約半数が高齢者施設入所者というdataもある。

【症状のPoint】

気道症状型・消化器症状型・神経型と分類されていることもあるがクリアカットにはならない。下記は新型コロナを疑わせる症状で組み合わせにより可能性が高まるが、クリニックという軽症が多いセッティングでは発熱のみ、下痢のみということも大いにありうるので下記の症状がないから、新型コロナではない！とは言えない。

●感冒より経過の長い発熱（高熱であることが多い）

●持続する咳

●息切れ

●筋肉・関節痛

●強い倦怠感

●下痢

●鼻汁のない嗅覚・味覚障害

●頭痛

※石谷個人の印象では赤字の訴えが多い（nは少ないですが）

重症化して誰もが新型コロナを疑う状況であれば感染対策は比較的立てやすいが、診療所セッティングでは軽症新型コロナ・初期新型コロナに足元をすくわれ、一時閉院に追い込まれる診療所の情報もある。院内感染を防ぐためには、やはり院内消毒・手指消毒・換気・マスク・上記症状をある方を郵便局側からの出入りに限る・定期受診の方の中にもこのような症状を認める方には郵便局側からの出入りを徹底・診察する医師・看護師は標準予防策をしっかり行うことが大切である。

これだけでは不十分で、やはりスタッフ間の感染予防も重要である。

一番は体調不良の時は必ず休むこと、食事時のマスクを外した状態での対面会話、スタッフ同士の食事会飲み会禁止などが必要になります。

①具合が悪い時には気兼ねなく休むことができるシステム

ここで、典型的な風邪はどんなものか簡単に説明すると、せき・はな・のどの3つの症状が同時に同程度存在する状態です。風邪症候群と新型コロナ感染は典型例では異なりますが、見分けがつかないこともあります。

【スタッフの休み基準】

新型コロナウイルスは発症初期に感染力が高いと言われている。よって、なんとなく具合悪いな・・・少し様子を見てみよう、と思っている間に多くの人を感染させている可能性があります。なので積極的に医師に相談し、仕事を休むようにしましょう。スピードが大事！！

(1)職場で調子が悪くなったら

とにかく医師の診察を速やかに第2診察室で受けましょう。

リーダーへの報告は後で良いです。

リーダーへ相談→受診だと一歩遅れるし、受診のハードルが上がるかもしれません。

しかるべき指示を出して、医師の判断で休職を決定します。もちろんその時点で重症化の恐れがあると判断すれば病院へ紹介します。

(2)自宅で具合が悪くなったら

医師の電話診察を受けましょう。

クリニックがやっていない時間ならまずリーダーに相談し、医師につないでもらいましょう。

その場合院長か石谷にご相談ください。

今後の対応について指示を出します。

(1)、(2)どちらの場合であっても毎日電話でスタッフの状態を確認します。

病院受診のタイミングを絶対に逃さないの、安心して自宅療養してください。

【職場復帰基準】

復帰は下の2つの基準を両方満たすことです。

①発症から1週間

②解熱してから丸3日間

→医師から新型コロナの可能性高いと判断された方はこの基準を厳密に守っていただき、復帰の際に咳など症状が残っている場合には咳エチケットや手指消毒などいつも以上に徹底する。

→医師から上記の風邪症候群や鼻炎などの可能性が高いと判断された場合には、症状改善したら復帰可能

【上記を達成するために】

各部門で1人休職者がでた場合、2人でた場合、3人でた場合どのようにシフトや役割を回していくのか事前に決めておきましょう。

②規模を段階的に縮小するプランを立てて、それを職員に周知しておく

規模縮小の基準についてある程度休職している人数によって決めましたが、明確な根拠が人数にあるわけではないので、その都度現場の判断で臨機応変な措置をとるようにします。完全閉院基準に「院長入院」を設けましたが、院長にもしものことがあった時の奏愛会の動き方について近日中に院長より方針の発表がありますのでそれをお待ちください。

完全閉院基準（2週間）：院長が入院

20名を超えるスタッフが休職している

事務・医師部門が機能しない人数に減少した場合

対面外来中止基準（オンラインのみ）：検査スタッフが機能しない人数まで減少した場合

土日閉院基準：15名を超えるスタッフが休職している

日曜閉院基準：10名を超えるスタッフが休職している

18時まで短縮業務営業基準：事務スタッフや医師の休職が増え18-20時のオンライン診療をまわすことが困難となった場合

訪問看護閉じる：田中Ns、上林Nsが両方休職

休んでいるスタッフの人数を把握するため、各部門のリーダーはCOVID-19グループLINEでその日の朝に休職しているスタッフの数と名前を共有する。

濃厚接触者の定義（4/23現在）

患者さんが新型コロナが疑われる症状を呈した日の**2日前**から、患者さんとの距離が**1m以内**で、マスクなどで**口元が覆われていない状態**で**15分以上会話**をした人

濃厚接触者となると・・・

患者さんと最後に接触した日から14日間は健康観察期間(保健所の指示に従って対応し、健康状態を報告する期間)となる。

スタッフにPCR陽性者が出たら・・・

〈保健所的な業務停止となる濃厚接触者〉

仕事中常にマスクをしている状態であればセーフになります。

ただ、食事中はマスクを外すので感染者と食事を同席して上記基準を満たしていると濃厚接触者となる。

→業務停止対策として、食事中は会話をしないか・1m以上離れて座るか・15分以内に食べ終えるしかありません。

〈実質的な濃厚接触者〉

マスクにそこまでの予防効果はないので、感染者と同じ部門で仕事をしているスタッフはマスク以外の基準を満たす可能性が高く、実質的な濃厚接触者となります。

→だからスタッフ間感染を防ぐためには、普段からスタッフと一定の距離をおき、こまめな手指消毒と院内消毒と換気の徹底、昼食環境を整えることがとても重要になります。

③院内感染を防ぐために食堂の配置換え・時間差エッセン・手指消毒の徹底・院内消毒の徹底・マスク必ず着用・ミーティングは距離を保つもしくはオンラインで・エアゾル発生の恐れがある検査は院内で絶対に行わない（INF検査・溶連菌検査・吸痰・PCRなど）

これらを実践するためには自身が感染しない・感染させないという高い意識を持つことが大切です。自分が感染することで大切な仲間やその家族、患者さんに感染させてしまう可能性がある。院内感染が生じれば、規模縮小や閉院することになる可能性がある。そうすると信愛クリニックが支える地域の方々はどうなるでしょうか。

新型コロナ時代において、クリニックは誰もが注目するような表舞台、第一線ではありません。

しかし、信愛クリニックにおける
電話スタッフによる患者さんへのやさしい声かけが、
受付スタッフによる支え合ってより良いものを患者さんに届けたいという精神が、
書類スタッフによる正確で丁寧な作業が、
経営支援室スタッフの神経をすり減らしながら行ったださる管理業務が、
マーケティングスタッフの信愛の魅力を多くの方々に届けてくださる熱い思いが、
検査技師による安全安心の信頼される検査が、
看護スタッフにおけるきめ細やかな患者ケアが、
医師の純粋な患者さんへの思いが

不安に包まれる地域の患者さん一人一人に、希望の灯をともします。

私たちは、派手なこと、目立つことに目を奪われてしまいがちです。
しかし、どこかの片隅で誰の目にとまらなくともそこに目を向け、取り組んでいくことはとても尊いことです。

‘一隅を照らす’ 組織でありたい。

その積み重ねが日本を救い、世界を変えると私は思います。

『誰もがそこに行かぬから、我々が行く。

誰もしないから、我々がする』

中村哲医師の言葉です。

④がんばる職員にボーナス肉を配り、オンライン肉祭り開催

院長より感染の危険がある中、毎日出勤して地域のために働くスタッフに対してお肉をプレゼントくださるお話をいただいております。三密を避けなければならないため、スタッフ同士集まって食事や飲み会をすることは現段階でできませんが、いただいたお肉を持ち帰りそれぞれの方法で調理をして、オンライン肉祭りなら開催できるのではないのでしょうか。村松事務長と先日お話しさせていただきましたが、実現できたら楽しそうじゃないですか？

⑤現場の声をしっかり拾うため、普段から意見を言いやすい環境を作り、リーダーは最終決定と責任を負う(時にトップ→ダウンも必要)

リーダーは方向性を変えたり、方針を決定する際に少し立ち止まり、現場の声を聞いてみることはとても重要な意味を持ちます。その上で最終決定と責任を負う。それが現場の安心を生み、遠回りのようで団結して大きなチカラを生むことに繋がれば最高です。